



平成26年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年12月6日

上場会社名 株式会社 サッポロドラッグストア
 コード番号 2786 URL <http://www.sapporo-drug.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 富山 睦浩
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 高野 徹朗
 四半期報告書提出予定日 平成25年12月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東 札

TEL 011-771-8100

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年2月期第3四半期の連結業績(平成25年2月16日～平成25年11月15日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第3四半期	36,757	4.8	748	△10.6	753	△8.8	445	0.1
25年2月期第3四半期	35,072	7.0	837	△2.1	826	1.5	445	△3.4

(注) 包括利益 26年2月期第3四半期 446百万円 (0.2%) 25年2月期第3四半期 446百万円 (△3.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年2月期第3四半期	115.67	—
25年2月期第3四半期	115.58	—

(注) 平成25年8月16日付で、普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年2月期第3四半期	22,465	5,002	22.2
25年2月期	20,022	4,626	23.1

(参考) 自己資本 26年2月期第3四半期 4,982百万円 25年2月期 4,626百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年2月期	—	0.00	—	70.00	70.00
26年2月期	—	0.00	—	—	—
26年2月期(予想)	—	—	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成25年8月16日付で、普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。平成26年2月期(予想)の年間配当金は、当該株式分割を考慮した額を記載しております。

3. 平成26年2月期の連結業績予想(平成25年2月16日～平成26年2月15日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	48,780	4.1	1,025	△12.6	1,000	△11.2	580	0.3	150.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成25年8月16日付で、普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。1株当たり当期純利益は、当該株式分割を考慮して算定しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、[添付資料]3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年2月期3Q	4,002,000 株	25年2月期	4,002,000 株
② 期末自己株式数	26年2月期3Q	147,345 株	25年2月期	147,300 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年2月期3Q	3,854,692 株	25年2月期3Q	3,854,700 株

(注)平成25年8月16日付で、普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・平成25年8月16日付にて、普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。
・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、[添付資料]2ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(平成25年2月16日～平成25年11月15日)におけるわが国経済は、平成24年12月の政権交代後の経済政策(いわゆるアベノミクス)により円安・株高が進み、日本経済は全体として景気回復に向けた動きが見受けられ、個人消費も消費マインドの改善により一部回復の兆しが現われております。

しかしながら、企業の設備投資や個人の所得は未だ低迷したままであり、先行きの景気回復については依然として不透明な状況で推移しました。

ドラッグストア業界におきましても、消費者の節約志向と小売業全体での業種・業態を超えた激しい競争など、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループといたしましては、「健康で明るい社会の実現に貢献する」を経営理念に掲げ、ドラッグストア事業、調剤薬局事業、その他事業を展開しており、当第3四半期連結累計期間におきましては、ドラッグストア9店舗を新たに新店舗とする一方、経営効率化の観点からドラッグストア2店舗を閉店し、平成25年11月15日現在の店舗数は142店舗(ドラッグストア132店舗、調剤薬局10店舗)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(ドラッグストア事業)

ドラッグストア事業におきましては、小商圏での新店舗を可能とする高来店頻度の新フォーマットを7店舗出店いたしました。また、お客様に選ばれる店づくりの一環として、店舗の利便性向上を図るため、ホームケアでの品揃えの拡大を積極的に行う一方、新たに営業時間の延長を17店舗で実施するとともに、お客様に満足いただけるサービスを提供するための従業員教育を継続して積極的に取り組みました。

販売面では、競合店対策としての積極的な販売促進に加え、エブリデー・セイム・ロープライスの実現を目指した定番価格の見直しや月間特売価格の拡充を行い、毎日安心してお買い物いただけることによる、新規顧客の増加とリピーターの確保に努めました。

コスト面では、ローコスト運営を推進するため、物流センターの利用促進による物流コスト及び事務コストの軽減を図る一方、当社グループが今後とも継続的に成長し続けるため、新規出店にかかわる投資を行うほか、従業員の長期的成長を図る研修プログラムの実施を積極的に推進いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は352億98百万円(前年同期比5.6%増)、営業利益は6億29百万円(同14.8%減)となりました。

(調剤薬局事業)

調剤薬局事業におきましては、前連結会計年度での2店舗の閉店や平成24年4月の薬価改定等の影響などにより、当第3四半期連結累計期間の売上高は13億44百万円(前年同期比12.4%減)、営業利益は78百万円(同21.5%増)となりました。

(その他)

不動産賃貸業が主たる事業である、その他事業は、当第3四半期連結累計期間の売上高は1億14百万円(前年同期比9.7%増)、営業利益は41百万円(同20.8%増)となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は367億57百万円(前年同期比4.8%増)、営業利益は7億48百万円(同10.6%減)、経常利益は7億53百万円(同8.8%減)、四半期純利益は4億45百万円(同0.1%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、224億65百万円となり、前連結会計年度末に比べて24億42百万円増加となりました。その主な要因は、商品が8億52百万円、建物及び構築物(純額)が7億72百万円、土地が2億22百万円、その他(投資その他の資産)が3億60百万円増加したことなどによります。

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、174億62百万円となり、前連結会計年度末に比べて20億66百万円増加となりました。その主な要因は、買掛金が8億28百万円、長期借入金10億7百万円増加したことなどによります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、50億2百万円となり、前連結会計年度末に比べて3億76百万円増加となりました。その主な要因は、利益剰余金が、配当金の支払により89百万円減少したものの、四半期純利益により4億45百万円増加したことなどによります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月22日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年2月16日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月15日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年11月15日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	911,936	804,642
売掛金	415,468	459,179
商品	5,104,099	5,956,970
貯蔵品	13,011	20,500
繰延税金資産	192,014	192,014
その他	596,311	889,933
流動資産合計	7,232,842	8,323,242
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,031,516	3,804,476
土地	4,875,818	5,098,013
その他（純額）	1,324,020	1,291,994
有形固定資産合計	9,231,355	10,194,483
無形固定資産	96,471	115,447
投資その他の資産		
その他	3,489,397	3,850,000
貸倒引当金	△27,262	△17,500
投資その他の資産合計	3,462,135	3,832,500
固定資産合計	12,789,962	14,142,432
資産合計	20,022,804	22,465,674
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,434,200	5,262,536
短期借入金	1,450,000	1,550,000
1年内返済予定の長期借入金	1,999,757	1,944,560
未払法人税等	261,535	69,141
賞与引当金	199,521	347,583
ポイント引当金	97,100	103,000
その他	1,084,120	1,283,918
流動負債合計	9,526,234	10,560,738
固定負債		
長期借入金	4,564,600	5,572,310
退職給付引当金	180,611	200,027
役員退職慰労引当金	79,791	79,791
資産除去債務	154,257	183,761
その他	891,245	866,134
固定負債合計	5,870,505	6,902,025
負債合計	15,396,740	17,462,764

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月15日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年11月15日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	439,589	439,589
資本剰余金	481,788	481,788
利益剰余金	3,763,404	4,119,343
自己株式	△60,533	△60,592
株主資本合計	4,624,249	4,980,129
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,814	2,780
その他の包括利益累計額合計	1,814	2,780
少数株主持分	—	20,000
純資産合計	4,626,064	5,002,910
負債純資産合計	20,022,804	22,465,674

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年2月16日 至平成24年11月15日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年2月16日 至平成25年11月15日)
売上高	35,072,183	36,757,783
売上原価	26,716,271	28,207,789
売上総利益	8,355,911	8,549,993
販売費及び一般管理費	7,518,851	7,801,577
営業利益	837,059	748,416
営業外収益		
受取利息	765	764
受取配当金	934	949
受取手数料	11,145	13,121
固定資産受贈益	23,469	43,877
その他	46,592	33,674
営業外収益合計	82,907	92,388
営業外費用		
支払利息	80,558	72,238
その他	12,790	15,067
営業外費用合計	93,348	87,305
経常利益	826,618	753,500
特別損失		
店舗閉鎖損失	20,220	5,000
火災損失	19,258	—
特別損失合計	39,478	5,000
税金等調整前四半期純利益	787,139	748,500
法人税等合計	341,618	302,618
少数株主損益調整前四半期純利益	445,521	445,881
四半期純利益	445,521	445,881

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年2月16日 至平成24年11月15日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年2月16日 至平成25年11月15日)
少数株主損益調整前四半期純利益	445,521	445,881
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	586	966
その他の包括利益合計	586	966
四半期包括利益	446,108	446,847
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	446,108	446,847
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成24年2月16日 至 平成24年11月15日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ドラッグストア 事業	調剤薬局事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	33,432,908	1,534,727	34,967,636	104,546	35,072,183
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	33,432,908	1,534,727	34,967,636	104,546	35,072,183
セグメント利益	738,850	64,206	803,057	34,002	837,059

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業等であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	803,057
「その他」の区分の利益	34,002
四半期連結損益計算書の営業利益	837,059

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年2月16日 至平成25年11月15日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ドラッグストア 事業	調剤薬局事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	35,298,572	1,344,557	36,643,129	114,653	36,757,783
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	35,298,572	1,344,557	36,643,129	114,653	36,757,783
セグメント利益	629,304	78,026	707,331	41,085	748,416

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業等であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	707,331
「その他」の区分の利益	41,085
四半期連結損益計算書の営業利益	748,416

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。